

教員向け自己評価結果報告・分析

学校評価の一環として本校では教員向けの自己評価のアンケートを行いました。それぞれの質問について

5＝大いに当てはまる、4＝ほぼ当てはまる、3＝どちらかといえば当てはまる

2＝やや違う、1＝大いに違う

の5段階で各教員が回答しました。以下が、その結果(平均点)と分析です。関係の皆様には本校を評価いただく際の参考資料として頂ければと思います。

質問 番号	質問内容	平均点	前年度 平均点	順位	前年度 順位
1	礼・挨拶・身だしなみの徹底のため、服装指導・登下校指導等に積極的に取り組んでいますか。	4.8	4.6	1	1
2	清掃を徹底し、担当場所の環境美化と生徒の心の成長に努めていますか。	4.5	4.5	5	3
3	生徒の変化を察し、相談にのる等、問題行動の未然防止に取り組んでいますか。	4.7	4.5	3	3
4	「いじめ防止対策基本方針」を熟知し、人権に配慮した指導をしていますか。	4.7	4.6	2	1
5	進んで研修に参加する等、自己研鑽や教育技術・知識の獲得に努めていますか。	4.4	4.1	9	7
6	校務(分掌)処理に遅滞なく正確に取り組んでいますか。	4.5	4.2	6	6
7	基礎的・基本的な知識および技能習得のため、わかる授業を展開していますか。	4.4	4.3	9	5
8	地域の方々の要望・意見に耳を傾け、地域連携の充実を目指していますか。	4.3	3.7	10	10
9	進路相談等を通じて生徒理解に努め、進路実現を支援していますか。	4.7	4.1	3	7
10	保護者の方々と連携し、学校運営に取り組んでいますか。	4.4	4.0	7	9

分 析

全体的に昨年度を上回る評価となりました。昨年度に比べ、各教員が各自の業務に対して高い評価を下すことができているということは、教員それぞれが能動的な姿勢で各業務に当たっていることのあらわれだと思います。特に「8. 地域連携の充実」と「9. 進路実現の支援」がそれぞれ6ポイント上昇しています。8に対しては、体育祭の観覧や明峰祭での参加を地域に促したこと、9に対してはインターンシップの回数を増やしたことが具体的な要因かもしれませんが、教員が一体となって積極的にこれらの業務に関わっていることがわかります。

質問項目の平均点を高い順に序列を立てた結果を比較すると、依然として8が最下位ですが、これは教員の担当によっては実施しにくいものであるためやむをえないかもしれません。その一方で、全教員が取り組むべき「5. 研修の参加、自己研鑽の獲得」が昨年度よりも下がってしまったことは残念です。昨年度も改善を促し、今年度は「人権」や「危機管理」等、校内での教員研修も各種実施しておりますので、研修は受けているのですが、他の質問項目のポイント上昇に押し出される形になってしまいました。今後とも研究と修養に意識を高めてまいります。

例年通り1・3・4のような、生徒への生活指導等の項目に対して高得点で高順位です。このことは、引き続き教員全体が一丸となって、生徒指導・生活指導に取り組んでいる結果だと思われます。そして今回は、それらに加えて9の進路指導が3位と大きく順位を上げています。充実した生徒指導・生活指導のもと、落ち着いた学校生活の中で、生徒の進路実現に向けた指導や支援がこれまでよりじっくりとできるようになってきています。今後とも生徒の学校生活を第一に、教育的愛情と使命を持って本校の生徒の育成に取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今後ともご指導・ご協力のほどよろしくお願いいたします。